

研修名 マネジメント

令和元年5月20日（月）13:30～16:00

講演 「保育士施設における人材育成とは」  
講習 「これからの組織と人づくり 未来予想図を作ろう」  
講師 大阪教育大学 小崎 恭弘 氏

## 1 講演要旨

保育所におけるリーダーシップについて

- ・ 保育におけるリーダーの役割
- ・ 理想のリーダーとは？
- ・ ダメなリーダーとは？
- ・ 所長に求めるもの、求めないもの
- ・ 理想のリーダー像
- ・ 求められるリーダー像

マネジメントと保育の質的向上

- ・ 保育の質とは何か
- ・ 保育の質の構成要素
- ・ 保育の質の階層性
- ・ 保育の質の確保
- ・ 保育の質の向上
- ・ 保育の質の向上のために
- ・ 未来の保育人材を育てる視点

5～6人でグループを作り、ワークショップ

(それぞれ思いつく色を付箋に書いていき、グループ内でまとめていき、分類していく。)

①色について（ラベルワークのウォーミングアップ）

②理想のリーダーとは？

これまで関わってきたリーダー（管理者）の中で「すばらしい」と思う人の特徴をいくつか書いていく。

例：認めてくれる、思いをわかってくれる、人として尊敬できる、包容力、共感性、等

③ダメなリーダーとは？

これまで関わってきたリーダー（管理者）の中で「うーん、ちょっとなー」と思う人の特徴をいくつか書いていく。

例：指導力がない、公平でない、感情的、自己中心的、話しにくい、人のせいにする等

④保育で必要なもの、人、ことについて

## 2 感想

グループワークについては、他人の意見が聞けてたくさんのアイデアが出てくることで多様性を知ることができるので、懇談会等の保護者対象や、園内研修でも取り入れることができるのではないかと感じた。① 積極的に関わる ②すべての意見を受け止める ③この場所は安全である という3つのポイントを、事前に伝えた上で進めていくと良いという今回学んだことを実践していけたらと思う。

実際に初対面の方と意見を交流しながらラベルワークをしていき、グループの中で自分の役割は何かを考え、リードするだけでなく、サポートしたりコントロールしたり、自分から発信したり率先して行動していくことが保育の現場でも必要だと感じる。また、理想のリーダー像、ダメなリーダー像を挙げていく中で、その内容が専門性でなく人間性であることに改めて気づかされる。マネジメントの研修を受け、自分は果たしてどうだろうかと普段の言動を振り返り、丁寧さに欠けている部分があることを実感した。話しやすい雰囲気を作り、自分からコミュニケーションを図る等、すぐにできることを実践していきたいと感じる。

(記録 今里こども園 吉田理恵)